

令和7年第2回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時		人 数
令和7年6月13日(金)	午前10時～	6人(1番から6番まで)
令和7年6月16日(月)	午前10時～	5人(7番から11番まで)

質問 順位	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	14	自由民主党 多賀城市議団	鈴木 新津 男	2	一問一答
2番	10	日本共産党 多賀城市議団	中 田 定 行	4	一問一答
3番	2	日本共産党 多賀城市議団	伊 藤 真 弓	5	一問一答
4番	9	自由民主党 多賀城市議団	米 澤 ま き 子	9	一問一答
5番	6	自由民主党 多賀城市議団	本 間 圭	11	一問一答
6番	11	公明党 多賀城市議団	阿 部 正 幸	12	一問一答
7番	16	市民クラブ	昌 浦 泰 己	13	一問一答
8番	3	多賀城の未来を 照らす会	池 田 純	14	一問一答
9番	12	公明党 多賀城市議団	齋 藤 裕 子	15	一問一答
10番	7	自由民主党 多賀城市議団	千 葉 文 昭	17	一問一答
11番	1	日本共産党 多賀城市議団	峪 道 子	18	一問一答

計 11 名
 総括質問方式： 0 名
 一問一答方式： 11 名

質問順 1番	受付月日	6. 3	通 告 者	14番 種 別	鈴木 新津男 一問一答
1 山王地区の雨水対策について 山王西町浦付近の道路がたびたび冠水し車両の通行や歩行者の通行に支障をきたしている状況です。この道路は、子供たちの通学路になっていることから、も早急に対策を講じる必要があると考えますが、現在どのような対策をお考えかお伺いいたします。					

質問順 2番	受付月日	6. 3	通 告 者	10番 種 別	中 田 定 行 一問一答
1 砂押川遊水地をスポーツ施設として活用することについて 砂押川遊水地はすでに完成し、面積は15haです。上段（4.04ha）、中段（5.64ha）、下段（2.09ha）と3段にレベル差をつけて整備されており、県は、上段（北側）はもともと公園的活用を想定していると話しています。河川施設なので、トイレなど恒久的整備はできませんが、地元自治体とスポーツ施設等としての活用について協議したいとも話しています。パークゴルフ等のスポーツ施設用地として活用してはいかがか、市長の所見を伺います。 2 河川改修の促進について 内水ハザードマップが整備されたが、市の水害対策にどのように反映されているのか、次の点について伺う。 (1) 勿来川遊水地の土砂撤去について 勿来川遊水地は未完成であり、あと13万6,000m³の土砂掘削が必要です（計画は52万9,500m³）。県は、「準備はできているが土砂の運搬先を探しているところ」と話しています。早急に土砂撤去を行うよう県に働きかけるべきだと思いますが、いかがですか。 (2) 原谷地川の河川改修について 令和7年度の事業計画では、調査業務に基づき関係機関協議を実施し、基本方針を決定するとしています。具体的なスケジュールとその内容について伺います。					

質問順 3番	受付月日	6. 4	通 告 者	2番	伊 藤 真 弓
				種 別	一問一答
1 防災ビジョンについて 今年4月に設置された防災ビジョンを、市民の命を守り、防災に役立てるために活用されたい。以下の点について伺う (1) 防災ビジョンの設置目的について (2) 災害時にどのように活用するのか。「防災ビジョンの災害時活用」を平時から表示するようにしたらどうか 2 本市のICT整備事業について 本市のICT整備事業は、国のGIGAスクール構想に基づき進められている。小中学校に一人1台のタブレット機器が配備されて5年になる。国は、デジタル教科書の導入を進めている。一方、北欧などではデジタル教科書から紙の教科書へと回帰する動きがある。 本市は、今後どのようにICTを活用し、子どもたちの学びを保障していくのか。また、本市の学びの基本方針である「デジタル・シティズンシップの授業づくり」にどう取り組んでいくのかを伺う。 3 多賀城市コミュニティバスについて 9月、多賀城市コミュニティバスにおけるスマートフォン使用時無料の社会実験が終了する。今後も障がい者や高齢者に向けた支援が求められるが、以下について伺う。 (1) 社会実験の検証をいつ、どのように出すのか (2) 社会実験後の公共交通における障がい者や高齢者への支援策					

質問順 4番	受付月日	6. 2	通 告 者	9 番	米 澤 まき子
				種 別	一問一答
1 東小学校・東豊中学校での小中一貫教育の一形態「義務教育学校の」取り組みの検討を。					
これまで、隣接する東小学校と東豊中学校では、様々な交流する機会を数多く設けていますが、東小学校と東豊中学校は、基本的に9年間大きく人が入れ替わることがなく、その為、人間関係が固定化しやすい傾向にあります。その為、中学校の環境変化によっておこる「中ギャップ」又、家庭における児童生徒たちの社会性育成機能が弱まっていると感じております。					
文部科学省は2016年に義務教育学校の制度化を実施。小学校・中学校の6－3教育の概念が無くなるため、9年間のカリキュラムで指導が進められ全国の学校の中には4－3－2教育や5－4教育が導入されている学校も多く様々な課題が緩和・解消する方向へ向かっているため、導入したことに大きな価値があったと紹介されております。					
令和5年4月1日施行「多賀城市立学校における学校運営協議会の設置等の関する規則」第2条に、相互に綿密な連携を図る必要があると認めるときは、二以上の学校について一の協議会を設置することができる。又、小学校高学年における教科担任制を含む義務教育9年間を通じた教育活動を一体的に行うことが出来るとあります。正に、小中一貫教育から義務教育学校の学びの連続性を活かした内容とも受け取れますが、今後の教育環境の方向性と耐用年数を経過している東小学校の長寿命化計画について伺います。					

質問順 5番	受付月日	6. 4	通 告 者	6 番	本 間 圭
				種 別	一問一答
1 チーム担任制の成果と今後の展開について					
(1) チーム担任制を導入した1年間の総括と課題認識について					
(2) 教員加配を含めた人的体制の確保とチーム担任制の持続可能性について					
(3) チーム担任制の「見える化」と今後の展開・発展性について					
2 行政DX推進体制の現状と今後の展開について					
(1) 推進体制の現状と人的リソース（人材確保）の状況について					
(2) 外部財源（交付金等）の活用と庁内連携体制の強化について					
(3) 取組成果の「見える化」と今後のPDCA・改善体制について					

質問順 6番	受付月日	6. 4	通 告 者	11番	阿 部 正 幸
				種 別	一問一答
1 労働相談窓口設置について					
超高齢社会を迎えることによる「2025年問題」は、雇用や医療、福祉といったさまざまな分野へ多大な影響を及ぼすことが予想されています。後期高齢者が増えれば、介護・医療サービスを必要とする人も増えます。これに対応して、サービスの担い手である介護・医療の人材を確保する必要があります。 また2025年以降、超高齢化が進むとされている中、ビジネスケアラー（仕事と家族などの介護を両立する就労者）も急増する可能性があります。 さらに後継者不足による廃業が経済の縮小を加速させ、2025年までの累計で約650万人の雇用と約22兆円のGDPが失われる可能性があるとも言われています。 このような中、労働者は様々な悩みや課題を抱えながら仕事をしている状況です。 本市において、このような悩みを抱えている労働者の相談窓口を設置していただきたい。					
2 多賀城跡ガイダンス施設等を市内の小・中学生が学校として見学できる取り組みと修学旅行の誘致について					
4月25日に多賀城南門、多賀城跡ガイダンス施設がグランドオープンしました。 子どもたちが自分たちの住む地域に誇りを持ち、将来的には地域社会に貢献する人材として育つことを期待し「多賀城学」を導入しています。 多賀城跡ガイダンス施設等を市内の小・中学生が学校として見学できる取り組みをしていただきたい。 また2024年に「多賀城碑」が国宝になり、多賀城創建1300年事業の成果として、全国に多賀城を発信することが出来ました。観光元年に引き続き多賀城創建1301年を更に発信して、多賀城へ多くの方にお越しいただくために、修学旅行の誘致を積極的にしていただきたい。					

質問順 7番	受付月日	6. 3	通 告 者	16番	昌 浦 泰 已
				種 別	一問一答
1 カスタマーハラスメント条例策定について					
(1) 昨年9月の第3回定例会での私の一般質問で市職員の名札をカスタマーハラスメント防止の観点からひらがな表記とするよう提案したところ、今年4月1日から実現しました。市議会は令和7年5月16日に多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会を発足させました。これと軌を一にして市全体でカスタマーハラスメント防止に取り組むべく、悪質な行為を繰り返した場合は条例に基づき氏名が公表される、三重県桑名市のカスタマーハラスメント防止条例のような条例を市長は策定するお考えはお有りでしょうか。					

質問順 8番	受付月日	6. 3	通 告 者	3番	池 田 純
				種 別	一問一答
1 多文化共生社会の推進について					
(1) 宮城県多文化共生社会推進計画も踏まえた、本市のこれまでの多文化共生に関する施策、多文化共生に向けた市内の現状・課題認識、今後の施策の方向性について伺う。					
(2) 県内に居住するムスリム等の死後の対応強化等の観点から、宮城県が検討を進めている土葬墓地については賛否両論があり住民の不安も根強いが、墓地の認可は市町村が行うことから、県から土葬墓地の実現に向け本市に協力要請等があった場合どのように対応するのか伺う。					
2 防犯カメラの更なる活用について					
(1) 本市では、多賀城市防犯カメラの設置及び運用に関する条例に基づき、専ら公共の場所に向けてカメラを設置する町内会や商工会等が市に届け出を行う必要があるが、市設置分も含め、市内の防犯カメラ設置件数と現在の設置状況についての認識について伺う。					
(2) 近年の防犯カメラは犯罪の抑止だけではなく、車両接近検知による交通事故防止、人流測定によるEBPM（証拠に基づく政策立案）の推進、ビーコンタグによる子どもや高齢者の見守りサービスなど幅広く利用され、活用している自治体も増えている。市が主体となり市内主要地点への防犯カメラ設置や町内会等の防犯カメラ設置への支援を講ずるべきと考えるがいかがか。					
3 浮島地区の交通対策について					
(1) 浮島地区を東西に横切る県道泉塩釜線（以下「県道という」。）は、朝夕に慢性的な渋滞が発生している。その原因として、信号が短距離に3か所あること、市道史跡連絡線（以下「市道」という。）と交差するT字路について、県道から市道に右折する専用レーンがないこと、近年の県道北側の開発により住民が増えていること等が挙げられる。県道は通学路でもあり、また、渋滞回避のため、県道南側と市道史跡連絡線西側の住宅地をスピードを出して走行する車両もいることから、早急な対策が求められているが、警察に信号機の時間調整や県にガードレール設置等の対策を求めるべきと考えるがいかがか。					
(2) 浮島神社付近の市道浮島線について、道路幅員が狭い上に、急なカーブのため見通しが悪い状況である。登下校時の通過車両が多いため、歩行には注意が必要であるが、路面標示やラバーポールの設置等、安全対策を早急に講ずるべきと考えるがどうか。					

質問順 9番	受 付 月 日	6 . 4	通 告 者	1 2 番	齋 藤 裕 子
				種 別	一問一答
1 聴覚情報処理障害（ＡＰＤ）及び聞き取り困難症（ＬｉＤ）について					
ＡＰＤ，ＬｉＤは、純音聴力検査で正常であるにもかかわらず、騒がしい場所や複数人が会話する場面や、電話応対や授業中などの聞き取りが難しいとされています。脳の聴覚情報処理や認知などの問題で、聞き返しや聞き間違いが生じ、聞く気がないと誤解されることもあります。					
ＡＰＤの発症率は、日本で約１％、推定１２０万人とされ、決して珍しい障害ではありませんが、診断基準や治療方法が確立されていないため、ＡＰＤ，ＬｉＤ当事者は適切な配慮を受けられていない現状です。本市の支援の取り組みについて伺います。					
(1) 本市におけるＡＰＤ，ＬｉＤの認識について					
(2) 学校教育現場での適切な支援について					
(3) ＡＰＤ，ＬｉＤを抱える子どもや家族が気軽に相談できる窓口の設置や、相談体制について					
(4) ＡＰＤ，ＬｉＤの社会的認知度向上と福祉的支援について、専門検査を実施する医療機関の周知、行政窓口でのパンフレットの設置、講演会等の開催について					
(5) 聴力が正常値でも、医師が必要と判断した場合の補聴器購入費用の助成制度の導入について					
2 英語教育の推進について					
グローバル化が進む現代社会において英語教育は重要であり、国際的なコミュニケーションを円滑に行うために必要と考えます。茨城県境町では義務教育の中で英会話を身につけることや、姉妹都市のハワイやフィリピンとの交流を通じた学びが注目されています。宮城県は、みやぎの英語教育推進計画を策定し、グローバル人材の育成を推進しており、英語力の向上に取り組む事や、言語や文化交流を通じて広い視野で国際的な「人財」を育てることは、本市としても大切だと考えます。本市のグローバル人材の育成に向けた英語教育の取り組みについて伺います。					
3 高崎中学校のテニスコートの整備について					
学校施設の環境整備は、これまでも計画的に行われておりますが、児童生徒や学校の要望に対しての施設整備も重要と考えます。例年続く猛暑や、豪雨の影響もあり、特に高崎中学校のテニスコートは、地面の水はけが悪いこともありコートの劣化がかなり進んでおります。また、生徒自らが、部活の練習を補うため他の場所で行うなど、苦勞をされているとの保護者からの声も頂いております。高崎中学校のテニスコートの整備についてのお考えを伺います。					

質問順 10番	受付月日	6. 2	通 告 者	7 番	千 葉 文 昭
				種 別	一問一答
1 中央公園魅力創造事業について					
市は「アーバンスポーツを通じた賑わいの創出」と「スポーツツーリズム振興による地域活性化」を目指しているが					
(1) 国内外から一流選手や多数の観戦客が集まる国際大会等のスポーツイベントの招致・開催は特に重要と思うが、市の考えを伺う。					
(2) スポーツツーリズム振興の具体的な取組について伺う。					
(3) 施設利用者が増えていけば、市が委託業者に支払う指定管理料の減額が可能になると思うが、市の考えを伺う。					

質問順 11番	受付月日	6. 4	通 告 者	1 番	峪 道 子
				種 別	一問一答
1 生理用品の配置について					
(1) 包括的性教育の観点も含めて生理の尊厳について、市長はどう考えているのか、その認識を伺う。					
(2) 生理の貧困対策のためにも小中学校はじめ市の公共施設のトイレに生理用品を市の責任で配置されたい。					
2 市の健康診断場所の変更について					
桜木市営住宅の集会所で行ってきた市の健康診断場所が、急遽大代公民館等に変更された。高齢者の方などからは場所が遠くて大変で元に戻してほしいという声が上がっている。場所の変更等を再検討されたい。					